

# 貸 借 対 照 表

( 2021年3月31日 現在 )

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>固定資産</b>	<b>2,447,031</b>	<b>固定負債</b>	<b>729,015</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>2,145,972</b>	長期借入金	285,350
製造設備	133,207	退職給付引当金	209,685
供給設備	1,696,430	ガスホルダー修繕引当金	62,940
業務設備	160,957	社内長期預り金	92,311
附帯事業設備	131,391	器具保証引当金	58,643
建設仮勘定	23,985	その他固定負債	20,085
<b>無形固定資産</b>	<b>34,334</b>	<b>流動負債</b>	<b>684,505</b>
その他無形固定資産	34,334	1年以内に期限到来の固定負債	103,800
<b>投資その他の資産</b>	<b>266,723</b>	買掛金	254,283
投資有価証券	23,402	未払金	34,648
長期貸付金	18,444	未払費用	91,515
長期前払費用	27,905	未払法人税等	38,820
繰延税金資産	191,173	前受金	2,565
その他投資	5,814	預り金	3,939
貸倒引当金(貸方)	△ 16	関係会社短期債務	140
<b>流動資産</b>	<b>1,283,126</b>	社内預り金	43,383
現金及び預金	651,521	附帯事業流動負債	91,031
受取手形	2,504	その他流動負債	20,378
売掛金	360,261		
未収入金	15,842	<b>負債合計</b>	<b>1,413,521</b>
製品	2,128	<b>純資産の部</b>	
原材料	1,240	<b>株主資本</b>	<b>2,306,873</b>
貯蔵品	78,302	<b>資本金</b>	<b>225,000</b>
附帯事業流動資産	165,749	<b>資本剰余金</b>	<b>135,552</b>
その他流動資産	6,038	資本準備金	135,552
貸倒引当金(貸方)	△ 462	<b>利益剰余金</b>	<b>1,946,321</b>
		利益準備金	56,250
		その他利益剰余金	1,890,071
		別途積立金	840,000
		繰越利益剰余金	1,050,071
		(当期純利益)	(195,145)
		<b>評価・換算差額等</b>	<b>9,762</b>
		その他有価証券評価差額金	9,762
		<b>純資産合計</b>	<b>2,316,635</b>
<b>資産合計</b>	<b>3,730,157</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>3,730,157</b>

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示してあります。

# 個別注記表

( 2020年 4月 1日から  
2021年 3月 31日まで )

## 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### (1) 資産の評価基準及び評価方法

- ① 有価証券の評価は、その他有価証券のうち、時価のあるものについては期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）、時価のないものについては移動平均法による原価法によっている。
- ② 製品・貯蔵品の評価は、移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定している。
- ③ 附帯事業の商品の評価は、先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定している。

### (2) 固定資産の減価償却の方法

- ① 有形固定資産の減価償却は、定率法によっている。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用している。
- ② 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却は、リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法を採用している。

### (3) 引当金の計上基準

- ① 貸倒引当金は、期末現在に有する金銭債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。
- ② 退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込額に基づき計上している。
- ③ ガスホルダー修繕引当金は、球形ガスホルダーの周期的な修繕に要する費用の支出に備えるため、次回修繕見積額について、当期までの期間対応額を計上している。
- ④ 器具保証引当金は、器具の販売に伴い当社が保証するサービス等に要する費用の支出に備えるため、その見積額を計上している。

### (4) 収益及び費用の計上基準

関連する会計基準等の定めが明らかでない場合に採用した会計処理の原則及び手続

ガス料金に係る収益認識の方法

ガス料金に係る収益の認識は、毎月、定期的に実施する検針により確認した顧客の使用量に基づいて行っている。

(追加情報)

「会計方針の開示、会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号2020年3月31日）を当事業年度の計算書類から適用し、「関連する会計基準等の定めが明らかでない場合に採用した会計処理の原則及び手続」を開示している。

#### (5) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

### 2. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額 15,302,642 千円

### 3. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因

繰延税金資産

退職給付引当金、減価償却費限度額超過額、器具保証引当金

繰延税金負債

なし

### 4. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たりの純資産額 514円 81 銭

(2) 1株当たりの当期純利益 43円 37 銭

### 5. その他の注記

記載金額は、千円未満を切り捨てて表示している。